

# 一般質問発言通告書

発言順位 14 番

下記事項について質問をしたいので、会議規則第51条第1項の規定により通告します。

令和元年11月26日

三島市議会議長 大房 正治 様

三島市議会議員 7 番 堀江 和雄



質問事項 1	ひきこもり支援と実態調査について
具体的内容	
8050 問題の要因となる、ひきこもり状態にある方への支援が進められています。これまでは社会の第一線で活躍されておられた方が、何らかの要因が引き金となり、人あるいは社会とのつながりを閉ざしてしまう。家族においては息子・娘の将来を気にかける、また稼ぎ手の観点からは社会的な労働力の損失となります。三島市の取り組みについて伺います。	
1 ひきこもり状態にある方の現状と認識について	
2 ひきこもりの実態調査とその結果・対策の必要性について	
3 ひきこもり支援のため断らない相談窓口の通達と窓口の展開について	
4 生活支援センターへの相談窓口設置と人員の確保について	
質問事項 2	補助金事業の改革と行政評価について
具体的内容	
三島市の事業の評価は担当課による事務事業評価で行われています。なかでも委託・補助金事業は事業数・金額ともに増加傾向にあります。補助金事業における事務事業評価の活用・評価の手法、事業効果の検証および目標設定手法について伺います。	
1 委託事業・補助事業の件数と金額の推移と市単独補助事業の件数・金額の推移について	
2 委託事業・補助事業の効果・検証の現状について	
3 事務事業評価を補助事業・委託事業検証へ活用することについて、新財務会計システムでは事務事業評価はどのようになるのか。	
4 補助事業の実績と次年度予算への反映はどのようにされているのか。	
5 補助事業改革の必要性と第三者機関の設置について	
質問事項 3	三島市の将来に向けた都市格について
具体的内容	
本年の市民意識調査において、三島市の将来の都市規模は？との設問に対して現状の11万人程度34.4%を上回る回答であり、伊豆地域を代表する都市、人口15万～19万人程度が36.1%、人口20万人程度も7%と伊豆地域を代表する規模の都市への期待が高まっていることについて伺います。	
1 伊豆地域を代表する規模への都市格の期待の高まりについて、市長の見解を伺います。	